

第2回 馬淵川流域治水協議会

青森河川国道事務所

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

■概要

第2回馬淵川流域治水協議会では、関係機関の参画に伴う構成員追加の規約改定が承認され、今年度末に策定を予定している「馬淵川水系流域治水プロジェクト」の概要について共有を諮り、今後、馬淵川流域が一体となった治水対策を推進していくための意見交換を行いました。

■開催内容

開催月日：令和3年2月18日（木）

開催場所：青森河川国道事務所 2階 災害対策室（WEB会議）

構成員：八戸市長、三戸町長、五戸町長、田子町長、南部町長、新郷村長、二戸市長、八幡平市長、葛巻町長、軽米町長、一戸町長、青森県農林水産部長、青森県県土整備部長、青森県危機管理局長、岩手県農林水産部長、岩手県県土整備部長、北奥羽土地改良調査管理事務所長、三八上北森林管理署長、森林整備センター東北北海道整備局長、青森地方気象台長、青森河川国道事務所長

議事概要：1. 規約の改定
2. 流域治水プロジェクトの概要について
3. 意見交換

■ご意見・コメント等

- 河川に限らず、対策を要するインフラを多く抱えているが、二戸市国土強靱化計画に掲げた「強さ」と「しなやかさ」を備えた安心・安全な「にのへ」を目指して取り組んでいく。
- 緊急自然災害防止対策事業や緊急浚渫推進事業を活用して流域治水プロジェクトに位置付けるハード整備を実施していきたいと考えているが、農業用以外の雨水貯留機能を有する施設も対象となるよう検討していただきたい。
- 馬淵川のような大きな河川に対して水害を防止するには、個々の自治体では体力に限界があり、流域治水プロジェクトによる連携が必要と考えている。
- 町の面積の8割が山林となっており、山林を適切に管理することで、水源涵養機能や洪水緩和機能を維持し、洪水の緩和につなげられるよう、山林の機能面についても共有し、県をまたいで関係市町村の連携を活性化していきたい。



WEB会議の状況